

しやなふち  
有限会社 社名 澁みどり牧場

■ 地域を大事にする「牛・人・環境にやさしい牧場」



〈法人の概要〉

所在地: 〒099-0426 遠軽町社名澁 95 番地 1

代表者: 代表取締役 伯谷(はくたに) 清人

構成員: 6 名(構成農家 3 戸)

役員: 6 名 常時従事者: 4 名

設立年月: 平成 10 年 9 月 資本金: 900 万円

事業内容: 酪農

採草地 105ha、デントコーン 70ha、てん菜 3ha、秋まき  
小麦 8ha、加工用スイートコーン 4ha、乳用経産牛 230  
頭、乳用育成牛 220 頭、年間生乳生産量 2,390t  
(H22 年)

経営面積: 190ha(H22 年)

売上高: 2 億 4,700 万円(H21 年)

電話: 0158-49-2188 FAX: 0158-49-2188

E-mail: m-bokujo@phoenix-c.or.jp

〈法人のあゆみ〉

昭和 46 年	法人の前身となるトラクタ利用組合を 7 戸で設立
平成 9 年	トラクタ利用組合のうち 2 戸で法人化を検討
10 年	有限会社社名澁みどり牧場を設立
12 年	フリーストール牛舎導入
18 年	牛舎増築、バイオプラント導入

〈設立の経緯・設立後の状況〉

- ・平成 9 年にダンプを共同利用していた農家 2 戸で、機械や老朽牛舎等の施設更新の時期を迎え、投資負担を軽減するため、法人化することを検討。
- ・近隣の農家にも法人への参加を呼びかけ、最終的に 30~40 歳代の構成員 6 名(3 戸)で平成 10 年 9 月に有限会社社名澁みどり牧場を設立。
- ・設立にあたっては、JAや普及センターの協力を得たほか、諸手続等については社会保険労務士に相談。検討から設立までに 1 年程度要した。
- ・法人への資産引継ぎについては、機械・施設、農地の扱いを検討した結果、機械は簿価で譲渡、農地は無償賃貸とした。
- ・給与の設定についても検討し、個々の負債であっても農業(経営)に関するものは法人に入れたことから、給与水準は低く設定した。また、3 戸の経営バランスが良かったことから、給与は全員一律とした。
- ・法人経営では、従来の「つなぎ牛舎」から「フリーストール牛舎」による効率的多頭飼育、多頭飼育による所得向上を目指し、平成 12 年にフリーストール牛舎を導入した。
- ・平成 18 年には牛舎を増築したほか、ふん尿処理施設としてバイオガスプラントを整備した。

### 〈法人経営で生じた課題と対応策〉

- ・従業員教育が難しい。将来の後継者として従業員を募集するが、適格者が少ない状況。
- ・農業改良普及センターから提案のあった法人化後の経営計画等のシミュレーションが参考になったが、牛舎施設は作業動線や衛生管理を十分考慮して設計すれば良かった。設立時には、例えば、「消防法」など、経営の大規模化に伴う施設整備や法令遵守に関する情報があれば役に立つ。

### 〈法人経営のメリット・デメリット〉

#### (メリット)

- ・経営意欲が向上し、積極的な管理が出来た。
- ・新しい技術を導入できた。
- ・労働力不足の解消により、休暇が取得しやすくなり、生活に「ゆとり」が生まれた。
- ・対外信用力が増した。

#### (デメリット)

- ・個人経営とは違い、組織内で意思の疎通を図る必要があるため、仕事中は常に緊張感を維持。
- ・経営上のデメリットは感じない。

### 〈法人が継続するためのポイント〉

- ・後継者の確保・育成が大切。
- ・従業員には、地域に溶け込んでもらうことも必要。このため、近くの教職員住宅を法人が借り上げて従業員が居住している。

### 〈これから法人化を目指す農業者へのメッセージ〉

- ・人間関係が一番大事であり、自分勝手は出来ない。人に使われることが嫌なようであれば、法人にしない方が良い。
- ・「共同で行う」とは、例えば草刈りをするにしても、天気のときに作業するのか、雨の中でも作業するのかを、一つ一つ組織で相談して決めるということ。会社組織で働くことの認識が大切。個人経営時とは違う意識が必要。

### 〈特徴的な活動や取り組み〉

- ・(社)中央酪農会議が認証している「酪農教育ファーム認定牧場」となっている。
- ・遠軽町教育委員会の「学社融合事業」の一環として、地元の遠軽小学校の児童を受け入れ、各種実習を行うことで「食育」活動を担っている。
- ・ロータリーミルクングパーラー(24頭規模)による効率的な搾乳を実施。
- ・牛糞発酵によるバイオガスプラントの活用など、先進技術を導入している。

### 〈経営目標と将来の展望〉

- ・規模拡大を志向(ただし乳価の動向をみて判断)
- ・後継者の育成・確保

#### 〈主な機械・施設〉

- ・ロータリーミルクングパーラー1基
- ・バイオガスプラント1基
- ・哺乳ロボット1機
- ・堆肥攪拌機1機
- ・その他(トラクタ、飼料作物作業機等)

### 〈視察等の受入〉

詳細については要相談。

連絡先: 090-9088-3015 (担当:代表取締役 伯谷(はくたに)清人)